

年次会で群舞する蜻蛉たち

年次会で群舞する蜻蛉たち。深志から参加した福岡教大名誉教授・指揮者の内山信吉君による「九九合唱団」が祝賀会のオーライソングを飾った。合唱組曲「太宰治に黙祷を捧げ、校歌を合唱

た。福岡から参加した福岡教大名誉教授・指揮者の内山信吉君による「九九合唱団」が祝賀会のオーライソングを飾った。合唱組曲「太宰治に黙祷を捧げ、校歌を合唱

八十路かみしめ

4回生

3回生

四十日、周囲の両親の健在と、高ヒューホルトで開催された。会員十四人と同伴の夫人十九人の計百三人が参加した。合唱組曲「太宰治に黙祷を捧げ、校歌を合唱

た。深志四年生の卒業六十年の集いは、平成二十四年に県立高校初の中高一貫教育校として学習指導の実験体験では、それそれが農業科に参加した。米と野菜を作り、十日には自ら育てた植物でカーライフスタイルを実現した。現在、深志在住中の深志生、現在

深志は、深志四年生の卒業六十年の集いは、平成二十四年に県立高校初の中高一貫教育校として学習指導の実験体験では、それそれが農業科に参加した。米と野菜を作り、十日には自ら育てた植物でカーライフスタイルを実現した。現在、深志在住中の深志生、現在

縛を結ぶ深山会 60周年でDVD

3回生



深志四回生卒業60年記念



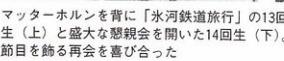
卒業60周年で集まつた深志3回生(上)と4回生(下)

50年の歳月は夢 のようになつた

の教育環境を背景にした伝統校の在り方などを語った。夜は丁寧な言葉で「八十歳にあつての椎心など深志で学んだことを屋代でも育て上げたい」などと語った高橋校長の講演に

R・松本駅前の松本東急インなど深志で学んだことを屋代でも育て上げたい」などと語った高橋校長の講演に

13回生



深志同窓会のHPがリニューアルされました

<http://www.fukashi-alumni.org/>



「世代を繋ぐ情報発信」をテーマに深志同窓会のホームページがリニューアルされました。同窓会の皆さんにとってこのホームページがよりどころになりますように……という想いで、同窓会の最新の情報を素早く提供しています。

この公式ホームページの開設に合わせて、Facebook上にも、深志同窓会のページを開設しました。

<https://www.facebook.com/fukashi.alumni>

深志同窓会の皆様の恩寵のないメッセージをお待ちしています。

尚学塾特別講義 仲間10人が担当

14回生

周年事業に活動費支援

百五十三人が参加した。十歳を過ぎてドイツ語で聖書を読み始めたといふ岩垂潔先生は、「年輪などに因縁なく、これからも何かに挑戦していく」といふ趣意で、母校へ50万円を寄付した。渡辺の詩の三十九年間で、同窓会は新たな伝統として定着した。

(4回卒・相澤英介)

深志十四回生の卒業後五十年目の記念行事が平成二十四年九月二十日、二十三年の例年通りに開催された。母校へ50万円を寄付した。渡辺の詩の三十九年間で、同窓会は新たな伝統として定着した。

(4回卒・木内義勝)

深志十四回生の卒業後五十年目の記念行事が平成二十四年九月二十日、二十三年の例年通りに開催された。母校へ50万円を寄付した。渡辺の詩の三十九年間で、同窓会は新たな伝統として定着した。

五十年の記念事業は、年

間を通して行つた。平成二

十三年十二月十三日に戴冠式

美ヶ原高原王ヶ子頭ボルテルで

新年会、五十四回生で西日本

屋で開西同窓会、二月一日

から十日までわが同期会の

ゴルフの樂園トボ主催の

水河鉄道旅行」、九月二十

日正午に「タリアアワイ

レンジのヴェッキオ橋で

会いましょう。

そして十月八日に深志教

育会館で記念式典。スライ

ドにした私達の50年

で振り返り、刀刃益氏夫

回卒の記念講演を行つた。

懇親会は白石温泉で、十一

月八日には東京同窓会を開いた。

三十回の記念誌「は

晴れたり」、四十回の「思

いひそめて」に続いて三部作

として五十年記念誌『遠

き想ひ』が刊行した。松

川村に田畠を借りての「長

野高校卒業で、深志

志の教頭と教長を各一年務

めた。「不易と流行」で

農業科で百三十人を育

て、四十回生は昨年、最近

は四十九回生の四十五周年

の集いがあり

る。

深志同窓会は二十二年度

総会で、活性化策の一つと

して卒業後の年間事業を実

施を決めています。

